

各 位

会 社 名 株式会社プロジェ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 上 野 孝 一
(コード番号：3114 名証・大証第二部)
問合せ先 取締役 管理部長 坂 本 鐵 雄
電話番号 (03) 5777-5152

当社の親会社 ステラ・グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 古 川 善 健
(コード番号：8206 大証第二部)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社では、下記の理由により、平成 21 年 2 月期（平成 20 年 3 月 1 日から平成 21 年 2 月 28 日まで）におきまして特別損失を計上いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の理由および内容

①有価証券評価損 約 82 百万円（連結・個別）

当社は、平成21年2月期において、「その他有価証券」に区分される保有投資有価証券（TAIFOOK INVESTMENT FUND LIMITED-ASIA GROWTH FUND）について、当社貸借対照表における株式の資産額に対する時価の下落率と今後の証券市場における株価動向を勘案し、当社会計基準に基づき平成21年2月期末において減損処理による投資有価証券評価損を計上することが適切であるとの結論に達したものです。（尚、当該有価証券は海外の投資信託であり、平成21年2月28日時点での時価は、運用金融機関から送付される「Holding Statement」の到着をもって確定させております）

②貸倒引当金繰入額 約37百万円（連結・個別）

当社の不動産事業において、平成20年3月に投資した不動産共同出資事業の元本（300百万円）のうち、返還期日を越えてなお未回収となっている約37百万円について、現在の不動産市況等を勘案し、今後の回収の可能性を保守的に見積もり、全額貸倒引当金繰入を計上するものです。

当該不動産共同出資事業は、マンション1棟の転売を目的としておりましたが、予定していた売却先と成約に至らず、当社の出資金についても期日までに返還されませんでした。これまでに約263百万円を回収し、残額についても引き続き交渉中であります。

③違約金損失繰入額 34 百万円（連結・個別）

平成 20 年 10 月 24 日付「訴訟の提起に関するお知らせ」に記載の裁判については、現在も当社の正当性を主張して進行中ですが、本件裁判において当社側に支払いが発生する可能性を保守的に見積もり、34 百万円について違約金損失繰入額を計上するものです。

④(子会社に係る)減損損失 約74百万円(連結)及び 関係会社株式評価損 約101百万円(個別)

当社100%子会社である株式会社サイバーリップル(以下「サイバーリップル」という)は、平成21年2月期の業績において、現在の広告業界を取り巻く環境の急激な悪化の影響を大きく受けております。また、経済環境の回復は不透明であり、当面厳しい環境が継続すると考えられます。そのため、当社平成21年2月期連結決算において、サイバーリップル株式取得時に発生した「のれん」の減損処理を行い、約74百万円を減損損失として計上することといたしました。

また、同様に当社平成21年2月期個別決算において、サイバーリップル株式取得額全額(約101百万円)を関係会社株式評価損として計上することといたしました。

※ 尚、上記①②④の特別損失につきましては、いずれも金銭の直接支出を伴わないものである旨、念のため申し添えさせていただきます。

2. 今後の見通し

本件による平成21年2月期業績予想(平成21年1月9日公表分)の変更はありません。

以上